

『現代の国語』実践 ルーブリック評価例

単元 第1章 問うこと、語ること

実践 「質問する力」を育てよう

1. 学習指導の目標

思考力・判断力・表現力等	A話すこと・聞くこと	ア) 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
--------------	------------	--

パフォーマンス課題

- ①一分間の簡単なスピーチの内容を考えてみよう。
- ②数人のグループになって最初に誰が話すかを決め、スピーチをしてみよう。
- ③話し手の隣の人から順番に質問し、話し手がその質問に答えていこう。
- ④全員の質問が終わったら、今度は最初にスピーチをした人の隣の人が話し手になって一分間スピーチしよう。その後、③と同様に話し手の隣の人から順に質問し、話し手が答えると言うことを繰り返そう。
- ⑤全員のスピーチと質問が終わったら、全体のプロセスをふり返って、活動をどのように感じたか、どんな質問で話が深まったかなどを話し合ってみよう。

2. ルーブリック表

評価の観点	
評価のレベル	
A 十分満足できる	論理の展開や話の構成を対象化し整理しながら的確に質問をすることができ、全体のプロセスを振り返り、話を広げたり深めたりすることができている。
B 満足できる	論理の展開や話の構成を対象化し整理しながら質問をすることができ、全体のプロセスを振り返ることができている。
C 努力を要する	スピーチを聞くことができているが、論理の展開や話の構成を対象化することができず、話を深めたり広げたりする質問を考えることができていない。

【評価基準の考え方】

相手のスピーチに聞き、より生産的な「質問」をすることができるようになることを重視したものである。そのため、質問をすることだけにとどまらず、その質問の効果を考えることができているかどうかを求めるものとなっている。